

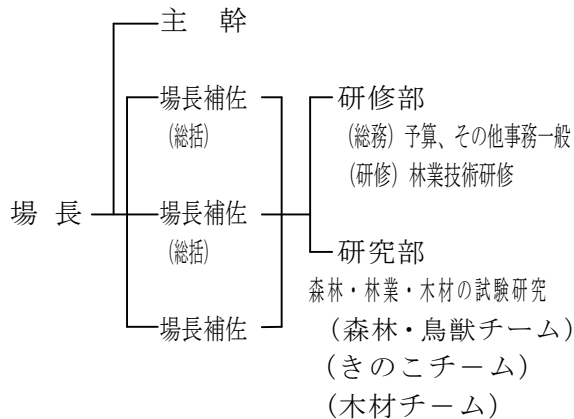
## IV その他の場務

### 1 場務関係

#### (1) 来場者数 (本場)

種 別	件数	人 数
林業関係等	107	2,020
そ の 他	3	1,200
計	110	3,220

#### (2) 機 構



#### (3) 職員数 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

職 種 別	職員数	備 考
場 長	1	
主 幹	1	
場長補佐(行)(総括)	1	
場長補佐(行)	(1)	兼研修部長
場長補佐(研)(総括)	(1)	兼研究部長
研 修 部 部 員(行)	5	(場長補佐 兼部長 1)
部 員(研)	13	(場長補佐 兼部長 1)
研 究 部		
特用林産事務嘱託員	1	
木材加工技術嘱託員	1	
モニタリング嘱託員	2	
合 計	26	

(行政 7、研究 15、その他 4 名)

### (4) 施 設

#### ① 土 地

種 別	面 積(ha)
苗 畑	0.90
採種園 (アカマツ)	2.00
採種園 (スギミニチュア)	0.12
樹木園	1.18
見本林	0.40
特用樹林	0.80
シイタケほだ場	0.50
建物敷地他	4.06
本 場 計	9.96
実験林	61.53
塩野室育苗地	32.29
祖母井採種園	1.19
21 世紀林業創造の森※	23,189.11
場 外 計	23,284.12
合 計	23,294.08

※借受不動産

#### ② 主な建物

種 別	面 積(m <sup>2</sup> )
本 館	1,198
研修館	674
実習舎 (2 棟)	431
作業舎 (2 棟)	174
温 室 (2 棟)	193
農具舎 (2 棟)	83
堆肥舎 (2 棟)	96
昆虫飼育室	22
種子乾燥舎	63
薬品保管庫	18
車 庫	103
林業生物工学棟	320
塩野室作業員詰所	45
塩野室宿舎兼事務所	54
研修宿泊棟 (21 世紀林業創造の森)	677
実習棟 (21 世紀林業創造の森)	280
森林交流館 (21 世紀林業創造の森)	349
木材加工試験棟	700
木材性能試験棟	499
傷病鳥獣救護施設 (県民の森)	245
その他	884
合 計	7,108

(5) 平成 26 年度決算額調

① 一般会計歳入

款	項	目	決算額(円)
分担金及び負担金	負担金	労働費負担金	1,034
		農林水産業費負担金	64,076
使用料及び手数料	使用料	農林水産使用料	250,036
諸収入	受託事業収入	スギ花粉発生源地域推定調査受託収入	300,000
		雑入	5,783
合 計			620,929

② 一般会計歳出

款	項	目	決算額(円)
総務費	総務管理費	一般管理費	4,200
		人事管理費	2,600
		財産管理費	2,501,280
衛生費	環境対策費	環境対策費	19,100
労働費	失業対策費	雇用対策総務費	22,044
農林水産業費	林業費	林業総務費	42,382,081
		林業振興費	19,724,618
		森林病害虫防除費	18,742
		造林費	1,601,525
		鳥獣保護費	23,884,023
合 計			90,160,213

③ 県営林特別会計歳入

款	項	目	決算額(円)
財産収入	財産売却収入	不動産売却収入	453,600
		合 計	453,600

④ 県営林特別会計歳出

なし

2 研究資料整備

受入種別	資料の種類	発行所種別	整備数(点)
購入	単行書		2
	定期刊行物		86
	計		88
寄贈 保管転換	単行書		6
	研究報告 年報 各種統計 雑誌	林野庁・森林管理局・森林管理署	7
		森林総合研究所	27
		都道府県及びその他試験研究機関	96
		公立研究機関・博物館	8
		その他公的機関	5
		森林等関係団体	23
		大学	26
その他	59		
計		257	
合計			345

※資料は書籍のほか、冊子、DVD、CDRを含む

### 3 啓発指導

#### (1) 相談業務

林業センターでは、緑化をはじめ森林・林業・木材等に関する相談に応じている。平成25年度における相談件数は293件で、その内訳は次表のとおりであった。

平成26年度相談業務実績

区分	件数	主な相談内容
造林・育苗	5	・苗の入手及び育苗方法について ・コンテナ苗の植栽方法について ・ササの除草について
緑化	17	・緑化木の増殖法について ・樹種名の同定について ・サクラの品種について
保護	13	・樹木の病虫害防除について ・松食い虫の防除について ・材線虫の分離について
特産	68	・野生きのこの同定について ・きのこの栽培について ・きのこ放射能について
林産	142	・スギ・ヒノキの人工乾燥技術について ・耐力壁のせん断試験等接合・構造強度について ・各樹種の強度等について ・新製品等開発について
計	245	

#### (2) 公開デーの開催

当場の業務内容を広く県民にアピールするため、平成26年8月24日（日）に林業センター公開デーを開催した。当日の入場者は1,100名であった。

#### (3) 試験研究発表会の開催

日頃取り組んでいる試験研究等の内容を、森林・林業・木材関係者等に周知するため、平成27年2月13日に当会場内において第49回森林・林業試験研究発表会を開催した。

- ① 造林部門・・・2 課題
- ② 育種部門・・・1 課題
- ③ 特用林産部門・・・4 課題
- ④ 環境保全部門・・・1 課題
- ⑤ 環境部門・・・1 課題
- ⑥ 鳥獣部門・・・3 課題
- ⑦ 木材部門・・・9 課題
- 計 21 課題

(発表内容は次ページのとおり)

#### (4) 刊行物の刊行等

「林業センターホームページ」については、内容の充実に努めた。

(<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d57/index.html>)

第 49 回森林・林業試験研究発表会発表課題一覧

部 門	発 表 タ イ ト ル	発 表 者 (所 属)
造 林	森林資源循環利用先導モデル事業による皆伐施業の有効性	田村 稔 (林業センター)
育 種	花粉飛散量予測の精度向上を図るためのスギ雄花着花状況調査	丸山 友行 (林業センター)
環境保全	奥日光におけるシカによる植生への影響	井上 歩 (林業センター)
環 境	森林の水質保全機能に関する調査研究	金田 治彦 (保健環境センター)
鳥 獣	集落を対象としたアンケートによる鳥獣被害管理手法の有効性	高橋 安則 (林業センター)
鳥 獣	「月の輪認証」によるクマの個体数推定	丸山 哲也 (林業センター)
鳥 獣	平成の流鏑馬 (やぶさめ) ～車両からのシカ狙撃の試み～	丸山 哲也 (林業センター)
特用林産	原木林・ほだ場の除染実証事業 経過報告	杉本 恵里子 (林業センター)
特用林産	タケノコの放射能対策 経過報告	杉本 恵里子 (林業センター)
特用林産	栃木県内で発生する野生きのこの放射能	大橋 洋二 (林業センター)
特用林産	シイタケほだ木への環境からの放射能 2 次汚染	大橋 洋二 (林業センター)
特用林産	原木林の伐採可否判断のための調査技術	石川 洋一 (林業センター)
特用林産	原木スクリーニング調査用非破壊検査装置	石川 洋一 (林業センター)
木材(強度)	大規模木造建築物(栗野小)に用いたとちぎスギ・ヒノキ材の強度性能～縦振動法による動的ヤング係数の測定(7,126本)～	安藤 康裕 (林業センター)
木材(乾燥)	大径材の異なる条件下「丸太(樹皮付・剥皮)・製材」における天然乾燥速度の検証	安藤 康裕 (林業センター)
木 材 (木質構造)	垂直構面構造に関する研究～国交大臣認定に向けたとちぎスギ板材を用いた耐力壁の開発・性能評価～	亀山 雄搾 (林業センター)
木 材 (木質構造)	水平構面構造に関する研究～火打ち性能を有する新たな床構面の開発・性能評価～	亀山 雄搾 (林業センター)
木 材 (木質構造)	とちぎヒノキ集成平角材及び新接合法を用いた梁勝ち門型フレーム(ラーメン)工法の開発及び性能評価	亀山 雄搾 (林業センター)

木 材 (木質構造)	とちぎヒノキ構造用合板を用いた耐力壁のせん断耐力性能と壁倍率	安藤 康裕 (林業センター)
木 材 (新開発)	とちぎ材を用いたCLTモデルの製作と面内せん断及び曲げ性能試験	大塚 紘平 (林業センター) 大野 英克 (林業振興課)
木 材 (新開発)	木質バイオマス燃料(チップ)の高品質化に資する新プレス技術による低含水率化	大塚 紘平 (林業センター)
木材(普及)	中大規模木造建築物の普及マニュアルと構法・耐火等の実例	大野 英克 (林業振興課)